



7月

畜産総合センターようじん通信

平成29年7月

☆衛生検査を実施しました

オーエスキー病及びPRRS（豚繁殖・呼吸障害症候群）、サーコウイルス感染症の感染有無を確認するため、中央家畜保健衛生所の協力の元、衛生検査を実施しました。

30日齢、60日齢、90日齢、120日齢、150日齢及び経産豚についてそれぞれ検査した結果は全て陰性でした。

なお、当場のワクチンプログラムは以下のとおりです。

<母豚>

○ARBP豚丹毒混合不活化ワクチン（豚ホルテラ感染症・パストラ症（萎縮性鼻炎・肺炎）、豚丹毒予防）

…投与時期：分娩予定日の2か月及び1か月前

○リターガード（豚大腸菌症、クロストリジウム症（壊死性腸炎）予防）

…投与時期：分娩予定日の3週間前（初産は6週間前及び3週間前の2回）

<種豚（雄・雌）>

○日脳パルボ生ワクチン（日本脳炎、豚パルボウイルス病）

…投与時期：4月後半（蚊が発生するシーズン前）

○日脳不活化ワクチン

…投与時期：生ワクチン接種から約1か月後

<子豚>

○レスピシューア（豚マイコプラズマ肺炎予防）

…投与時期：7日齢、21日齢

○サーコフレックス（サーコウイルス感染症予防）

…投与時期：21日齢

◇これまでの系統三元豚枝肉共励会のデータ分析について

6月21日（水）に東三河食肉流通センターで開催されました系統三元豚枝肉共励会の研修会にて、農業総合試験場畜産研究部の増田主任研究員から過去の共励会データの分析結果について発表がありましたので、その一部を紹介します。

年次	上物率 (全体)	上物率 (上♀下♂)	格落ち理由 ※()内、厚脂:薄脂	背脂肪厚 (全体)	背脂肪厚 (上♀下♂)
23	80.0	80.0	重3,脂8(1:7),肉2	2.0	1.9
		80.0	重4,脂8(7:1),肉3		2.1
24	72.7	79.7	重7,脂4(2:2),肉2	2.0	1.9
		65.6	重10,脂9(9:0),肉3		2.1
27	66.7	68.8	重2,脂11(10:1),肉2	2.2	2.2
		64.6	重4,脂11(11:0),肉2		2.2
28	63.1	66.7	重6,脂6(5:1),肉2	2.2	2.1
		59.5	重4,脂12(12:0),肉1		2.3

※単位…上物率：％ 背脂肪厚：cm

※格落ち理由…数字は頭数を表す。重：重量大・小、脂：厚脂・薄脂、肉：肉質関連項目

H27年以降、厚脂が増えており、そのためか上物率もやや低下しているようです。これは、H27以降、開催日を冬季から夏季に変更したことも影響していると考えられます。一般的に、冬季は体温維持のために消費するエネルギー量が多く、脂肪として蓄積される量が夏季に比べて少ないと言われています。逆に夏季は消費エネルギーが少なく、冬季と同じ量のエネルギーを摂取した場合、脂肪として蓄積されやすいと考えられます。

一方、肥育日数は年度ごとに大きな差はなく、去勢と雌もほぼ同じです。ロース芯断面積 (cm²) については、雌の方が若干大きい結果となっています。

		肥育日数		
		平均	うち♀	うち去勢
H23	平均	171	173	170
	最大値	182	182	182
	最小値	140	140	148
H24	平均	169	169	168
	最大値	180	180	179
	最小値	145	145	157
H27	平均	172	172	171
	最大値	180	180	178
	最小値	161	164	161
H28	平均	172	172	171
	最大値	180	180	180
	最小値	158	158	158

※単位：日

		ロース芯断面積		
		平均	うち♀	うち去勢
H23	平均	25.5	26.6	24.4
	最大値	35.0	35.0	31.0
	最小値	17.0	20.0	17.0
H24	平均	25.9	26.8	24.9
	最大値	33.0	33.0	32.0
	最小値	16.0	17.0	16.0
H27	平均	25.2	26.3	23.9
	最大値	31.0	31.0	28.0
	最小値	19.0	20.0	19.0
H28	平均	26.1	27.3	24.8
	最大値	35.0	35.0	31.0
	最小値	17.0	19.0	17.0

※単位：cm²

◎雄の精液検査及び譲渡順の変更について

6月からの雄の譲渡については精液検査していないものも譲渡していきます。

譲渡についても予約順ではなく選畜・引取り順となりますので御了承下さい。確実に入手したい方は早期選畜及び引取りをお願い致します。

早期引取りにより「豚房を空けること」が次の種豚生産につながります。

県内養豚農家の皆様の要望に応えるため、今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

なお、当場では擬牝台を用いた乗駕欲検査は実施可能ですが、実物の雌を当てた検査は実施できませんので御容赦ください。



(連絡先)

◇畜産総合センター : 0564-21-0201